



舗装会館のご案内



一般社団法人 栃木県舗装協会

〒320-0032 宇都宮市昭和3丁目1番26号
栃木県舗装会館

TEL.028-622-6082 FAX.028-625-2539

<http://www.tochihokyo.com/>

e-mail. tochihokyo@mte.biglobe.ne.jp

ペーブメント
Pavement
vol.50

令和7年12月1日発行 編集発行



一般社団法人栃木県舗装協会 広報委員会

〒320-0032 宇都宮市昭和3-1-26 TEL.028-622-6082

ペーブメント Pavement

2025-12
vol.50

一般社団法人栃木県舗装協会

寄稿のページ

記憶

記憶を辿って

次世代型農業生産基盤整備の取組

ごあいさつ	一般社団法人 栃木県舗装協会 会長 岩見 高士	1
寄稿のページ	記憶	栃木県県土整備部長 小野 和憲 2
	記憶を辿って	栃木県環境森林部参事兼 自然環境課長 松本 勇 4
	次世代型農業生産基盤整備の取組	栃木県農政部参事兼 芳賀農業振興事務所長 森嶋 裕一 6
新代表者紹介	渡辺建設株式会社 代表取締役社長 渡辺 眞幸 岩澤建設株式会社 代表取締役社長 岩澤 賢典	8
若手技術者からのメッセージ	磯部建設株式会社 君島 あさ美 佐藤建設工業株式会社 高橋 海斗	9
技術のページ	流動わだちの要因と対策について	ニチレキ株式会社 関東支店 技術課 澤田 美那子 10
令和7年 優良安全管理 現場代理人表彰	岩原産業株式会社 鈴木 元大	栃舗建設工業株式会社 竹内 康祐 12
	上岡土建株式会社 佐藤 共彦	神谷建設株式会社 赤羽根 賢治 13
	株式会社浜屋組 高野 英人	株式会社猪股建設 松本 知大 14
		株式会社谷黒組 工藤 実 15
令和7年 優良工事完成 《知事表彰》	株式会社生駒組	16
	石川建設株式会社	17
令和7年 優良工事完成 《知事奨励賞》	株式会社大岩建設	18
令和7年 優良工事完成 《所長表彰》	天野建設株式会社	19
	株式会社菊地組	20
	小平興業株式会社	21
	株式会社千葉建設	22
	那須土木株式会社	23
令和7年 優良建設工事技術者表彰 とちぎ建設ネクストマスター	小平興業株式会社 伊藤 大揮	株式会社谷黒組 塩田 暉 24
大規模工事完成	一般国道408号 宇都宮高根沢バイパス	宇都宮市野高谷立体 25
話題	宇都宮工業高校で出前授業を実施～ICT舗装・建設業の魅力を高校生へ～	26
	舗装協会 視察研修 平泉・松島	28
一般社団法人 栃木県舗装協会の 事業概要	1. 令和7年度（一社）栃木県舗装協会 通常総会 2. 令和7年度永年勤続優良従業員表彰 3. 令和7年度安全衛生大会・安全衛生セミナー 4. 令和7年度暴力対策連絡大会 5. 県土整備部との舗装事業に関わる意見交換会 6. 令和7年度春季親睦ゴルフコンペ 7-1. 令和6年度 第1回安全パトロール	7-2. 令和6年度 第2回安全パトロール 8. 道路環境美化活動（愛ロード事業） 9. 令和6年度・7年度技術研修会 10. 令和7年度安全衛生講習会 11. 令和6年度舗装三県合同協議会 12. 各種委員会 30
関連団体の動き	1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会 2. 栃木県アスファルト合材協会 功労者表彰 3. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 第36回北関東ブロック連絡協議会大会 4. 県土整備部とのアスファルト合材に関わる意見交換会	37
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿		38
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員		40
栃木県アスファルト合材協会 会員名簿／工場一覧		42
創刊50号を迎えて（広報委員長メッセージ）		45
これまでの歩み（沿革）		46
編集後記		47

ごあいさつ

A greeting of the chairman



一般社団法人 栃木県舗装協会

会長 岩見 高士

日頃より関係機関の皆様方には、私達の協会運営に対しまして、温かいご指導、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、会員の皆様方には、協会活動に積極的にご参加、ご尽力を頂きまして誠に有難うございます。

この度は当協会誌『ペープメント』が創刊 50 号を迎えるにあたり、これまで刊行の継続にご尽力いただいた歴代の役員、広報委員の皆様、また執筆・編集・寄稿にご協力を賜った関係各位に、心より敬意と感謝を申し上げます。

本誌は、舗装技術の向上と業界内の情報共有を目的として創刊され、以来、現場の声や技術的課題、最新の研究成果を幅広く紹介してまいりました。創刊から今日に至るまで、社会資本整備の一翼を担う舗装業界の発展を支える貴重な情報誌として、確かな役割を果たしてきたものと存じます。

この 50 号の歩みは、我が国の舗装技術の進展と軌を一にしております。ICT を活用した施工管理の導入、中温化技術などによる脱炭素化への対応など、時代の変化に即応しながら、技術革新を積み重ねてまいりました。その背景には、行政と業界が一体となって進めてきた技術的協調と、現場での不断の努力があります。

近年、建設業界は資材価格の高騰、労働力不足、気候変動への対応など、かつてない厳しい環境に直面しております。特に舗装分野では、酷暑下での施工環境の改善、働き方改革が喫緊の課題です。こうした中で、デジタル化や省力化技術の活用、人材育成の取組を一層推進していく必要があります。

『ペープメント』がこれまで果たしてきた技術情報の発信や、行政・企業を結ぶ交流の場としての役割は、今後ますます重要性を増してまいります。本協会といたしましても、時代の要請に応え、地域社会の安全で快適な道路環境の整備に寄与できるよう、より一層の努力を重ねてまいります。

結びにあたり、これまで本誌の発行を支えてこられたすべての関係者の皆様に深甚なる感謝を申し上げますとともに、『ペープメント』が今後とも舗装業界の発展と社会基盤の充実に貢献し続けることを願い、舗装の専門工事業者として、会員企業の皆様と共に、持続可能で、先進的な技術を取り入れた舗装業界を築き上げるために、全力を尽くしていく所存です。協会員の皆様には今まで同様のご支援、ご協力を、そして、各関係機関の皆様方には、今後とも温かいご指導、ご支援が頂ければと思います。よろしく願いいたします。

Contribution

寄稿

記憶

栃木県県土整備部長

小野 和憲



私のこれまでの県庁生活35年は、本庁勤務15年（内河川課12年）、出先事務所勤務20年で、本庁は、部長・次長・技術管理課長を除き河川課という珍しい経歴です。

河川行政が長く記憶の多くが河川に関することから、今回は災害の記憶について書きたいと思います。

平成3年入庁後の大災害と言えば平成10年那須水害になります。平成10年8月26日（水）午後3:40に大雨注意報が発令されましたが、夕方から夜にかけて大雨はなく、大災害になるとは予想もしていませんでした。当時大田原土木事務所河川砂防課に配属していましたが、異常気象時の当番ではなかったため、残業をして20:00頃帰路につき、いつも通り23:00頃就寝しました。翌朝5:00頃だったと思うが、上司（S係長）から「余笹川が氾濫しているようだから至急登庁するように」との電話で起こされ、5:30には土木事務所に登庁をしました。

すぐに、S係長と県道大田原芦野線の寺子橋（写真1）に向かったが、そこで見たのは川幅が数倍に広がり濁流が県道を流出させた状況でした。その現場を見た時の率直な感想は、「また忙しくなるな～」という不謹慎なものでした。

8月26日～31日まで降り続いた雨は、総雨量1,253mmで、年平均降水量（1,815mm）の7割に相当するもので、いつまでも降り続く雨と苦情の電話に「早く止んでくれ」と祈っていた記憶があります。また、この災害復旧の担当割りはどうなるのか？余笹川災害復旧対策班に自分は配属されるのだろうか？などと考えていました。残念or幸いながら対策班には呼ばれませんでした。

さて、9月8日に余笹川災害復旧対策班が設置されるまでの間に、余笹川の災害復旧費はどれくらいになるのかS係長が試算をしていました。それは罫紙（けいし）に殴り書きをしたメモであったが、延長16km×約150万円／m＝約240億円と書かれていたことを記憶しています。災害調査もしていない、測量もしていない、計画も決まっていない、当然用地・補償物件も分からない、そういった中での試算でした。

新規事業を立ち上げる時、いくらかかるのか？概算（つかみ）でいい、精度は粗々でいい、約〇〇億円ですと言えることが土木技術者にとって重要だと思います。余笹川の災害復旧（一定災）は、申請額290億円、決定額285億円、実施額236億円と驚くべき精度でありました。余笹川の災害復旧が完了し実施額を聞いた時、改めてS係長の試算の精度に驚いたことと土木技術者として尊敬したことを覚えています。



寺子橋の被災状況(写真1)



整備後の余笹川

那須水害の概要

平成10年8月26日から31日にかけて停滞した前線と台風4号の影響で、栃木県北部や福島県で記録的な大雨が降ったことで発生しました。

那須町では8月27日の午前1時から2時までの1時間に、90ミリの猛烈な豪雨となり、27日に607ミリの降水量を観測しました。これは確率的に4000年に一度の雨量とされています。また、26日から31日までの5日間で、那須町では総降水量1,254ミリを記録しました。これは平均的な年間降水量約1,800ミリの約3分の2に当たります。

この豪雨により、余笹川、黒川、四ツ川など多くの中小河川が氾濫しました。人的被害は、県内で死者5名、行方不明者2名、負傷者19名に上り、全国では死者・行方不明者24名、負傷者55名の被害が出ました。

家屋被害は県内で全壊・半壊・一部破損が129棟、床上浸水が484棟、床下浸水が2,362棟発生しました。

道路や河川、橋梁など公共土木施設の被害額は約636億円、農業関係は約178億円、林業関係は約98億円に達しました。



記憶を辿って

栃木県環境森林部参事兼
自然環境課長

松本 勇



昭和の時代が終わって間もない平成元年5月、私の県庁での最初の職場は、当時は林務部の出先機関だった県民の森管理事務所でした。配属は鳥獣課、野生鳥獣に関する試験・研究を担う部署であり、増加傾向にあったニホンジカによる造林木の食害対策のため、今も活用されている忌避剤の効果試験のほか、狩猟の持続性確保のため、狩猟鳥であるヤマドリの増殖技術の研究などを行っていました。自然環境学習の機会を提供するイベントとして指定管理制度導入後も続いている「森の集い」が職員の手作りで始まったのもこの頃でした。

また、県民の森では、昭和57年に第33回全国植樹祭が開催され、当時高校生だった私は合唱団として参加するとともに、平成8年、矢板林務事務所勤務時には第20回全国育樹祭が開催され、この時も会場整理の一員として参加しています。60歳の節目を迎える年に自然環境課に所属し、野生鳥獣や県民の森に関する仕事に関わらせていただいていることには、浅からぬ縁を感じています。



県民の森管理事務所周辺



県民の森管理事務所近くを流れる宮川溪谷

時が過ぎて、入庁から10年後、大田原林務事務所に勤務していた平成10年8月、未曾有の豪雨が県北地域を襲いました。那須水害です。当時林道事業を担当しており、被災地域の交通アクセスが分断される中、山間奥地での林道の災害調査や復旧に向けた自力での測量設計など災害対応に追われる毎日でしたが、本庁・出先の他所属から多くの職員の応援もあり、何とか乗り切ることができました。身近に起きているとは思えない惨状に圧倒されながらも復旧事業に取り組み続けた日々は、その後の県職員としての糧となっていると思います。また、ここでは、二車線林道の開設工事や橋梁の架け替え工事も担当するなど、記憶に残る貴重な経験ができたと思っています。



第20回全国育樹祭記念緑地

先日、記憶を辿って、仕事で関わった場所に足を運んでみました。最後に訪ねた大田原市の林道小手谷論手線では、伐り出された木材が林道脇に積まれていたのに加え、峠にある御亭山頂付近の広場では訪れた人々が眼下に広がる眺望を楽しんでいました。利用されていることを実感して一人勝手に充足感に浸るとともに、今後も多くの方々に親しまれることを願いつつ、秋の気配が感じられる夕暮れの中、悠々と家路につきました。



林道小手谷論手線 終点付近



林道小手谷論手線 御亭山頂付近からの眺望



次世代型農業生産 基盤整備の取組

栃木県農政部参事兼
芳賀農業振興事務所長

森嶋 裕一



このたびは寄稿のお話をいただき、誠にありがとうございます。せっかくの機会ですので、今回は、当事務所が重点的に取り組んでいる、スマート農業に対応した「次世代型農業生産基盤整備」についてご紹介させていただきます。

少子高齢化や人口減少に伴う担い手不足は、あらゆる業界で深刻な課題となっており、農業分野においても、今後20年間で基幹的な農業従事者の数が現在の約4分の1にまで減少するという、極めて憂慮すべき予測が示されています。こうした危機的状況を打開する切り札とされているのがまさに「スマート農業」であり、ICT、ロボット、AIといった先端技術を活用することで、農作業の劇的な省力化や生産性の向上が大きく期待されています。



ロボットトラクターによる代掻き作業

栃木県では現在、水田の約7割が30アール程度の区画で整備されていますが、ロボットトラクターや農業用ドローンなどのスマート農機の性能を最大限に発揮させるためには、より大区画の圃場や広幅員(6m以上)の農道など、効率的な作業・移動ができる新たな生産基盤の整備が不可欠となっています。そこで、スマート農業に対応した次世代型の基盤整備では、1ヘクタール以上の圃場を目安とした「圃場の大区画化」をはじめ「排水路の暗渠化」や「幅広畦畔」の整備など、さまざまな取組を進めています。



農業用ドローンによる防除作業



1ha以上の区画規模で整備された圃場
(芳賀町北部第2地区)

「排水路の暗渠化」は、従来のオープン型の農業用排水路を管水路形式に変更し、地下に埋設することで、地上部を作業用道路としても活用できるようにするものです。これにより、スマート農機が圃場間を効率よく移動することが可能となります。

また「幅広畦畔」は、水田管理において大きな負担となっている除草作業を省力化するため、トラクターが走行可能な幅2m以上の畦畔を整備する取組です。除草作業を機械化することで、作業時間を約9割削減できるほか、作業用道路としても活用できるため、スマート農機の運用効率を高める効果も期待されています。



暗渠化された排水路



幅広畦畔での機械除草

水稻栽培にかかる労働時間の約3割を占める水管理作業の省力化も重要な課題です。従来の水管理は、日に何度も現地に赴き手作業で行う必要がありましたが、「ICT水田水管理システム」の導入により、省力的かつ精密な水管理が可能となっています。このシステムでは、スマートフォン等を用いて、水田の水位や水温を遠隔で監視できるほか、設定水位に応じた給水栓の自動開閉や遠隔操作ができる仕組みとなっています。また、センサーで取得した水位や操作履歴をクラウド上に保存し、水稻の生育状況や気象のデータ等と連携することで、経験や勘に頼らない安定した栽培管理が実現できます。

今後とも、本県農業の将来の担い手が安心して活躍できる、生産性の高い環境づくりを進めるため、農業農村整備に携わる全ての関係者の皆様と連携しながら、持続可能な地域農業の発展に向けて、次世代型農業生産基盤の整備を推進してまいります。



ICT水田水管理システム(芳賀町北部第2地区)



圃場出荷に対応した6m幅の農道(稲毛田地区)

* 新代表者紹介 *



渡辺建設株式会社 代表取締役社長

わたなべ まさ ゆき
渡辺 眞幸

渡辺建設株式会社 代表取締役社長の渡辺眞幸と申します。

当社は昭和 26 年 1 月、宇都宮市宮島町にて創業いたしました。当時、栃木県内では舗装された道路はさわめて少なく、荒廃した道路の補修といえば砂利道の整備や簡易舗装のパッチングなどが精一杯の状況であったと記録されています。

そのような時代背景の中、「国土の復興、経済の振興は道路整備から、道路整備は舗装から」との信念を掲げ、舗装工事業として文字どおりゼロから歩みを始めました。

以来、「ナベケン」の愛称とともに地域の皆様に支えられ、育てていただきながら、街のインフラ整備を担う総合建設業として今日まで歩み続けてまいりました。

また、当社創業社長であり、私の父である渡辺魁之助は、当舗装協会の第3代会長を務めさせていただきました。このことは大きな誇りであり、協会とのご縁を深く感じております。

このような歴史を胸に、創業からの初心を忘れることなく、これからも地域に暮らす皆様、そして未来を担う子どもたちが、安心・安全に笑顔で暮らせる環境を築くことを使命とし、協会活動に貢献してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



岩澤建設株式会社 代表取締役社長

いわさわ まさ ふみ
岩澤 賢典

この度、岩澤建設株式会社の代表取締役社長に就任いたしました岩澤賢典と申します。

弊社は創業以来、舗装工事を中心に地域社会の基盤整備に携わり、地元の皆様に支えられながら今日まで歩んでまいりました。これまでの実績と信頼を築き上げてきた先代の志を受け継ぎつつ、今後はさらに技術力と組織力の向上に努め、時代の要請に応える企業として成長してまいりたいと考えております。社会インフラを取り巻く環境は大きく変化しており、道路の老朽化対策や持続可能な施工方法の導入など、舗装業界にはこれまで以上に高い責任と使命が課せられております。そのような中で、品質と安全を第一に掲げながら、人材の育成や働きやすい環境づくりにも積極的に取り組み、未来へつながる健全な産業基盤を築いてまいります。

栃木県舗装協会の一員として会員の皆様と課題を共有し、互いに切磋琢磨しながら成長を重ね、地域の発展に貢献できるよう誠心誠意努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

* 若手技術者からのメッセージ *

一人前の舗装管理技術者を目指して

磯部建設株式会社

君島 あさ美



私は入社1年目です。

前職では全く異なる職種に就いていた為、アスファルト合材や建設業界について全く知識が無く毎日が不安ですが試験法便覧を読み少しずつ理解を深めています。

現在、試験室で供試体作製、密度の測定、ふるい分け試験をしています。こうした実務を通じて、知識を実際の作業に結びつけることを心掛けています。工場内業務だけではなく実際に自社工場から出荷された合材を使用している舗装現場へ各試験に行くこともあります。専門的な知識が求められる為、事前にしっかりと勉強し、準備を整えた上で現場に臨んでいます。

最近では子供とスーパーや遊びに出かけていても駐車場等に敷かれている合材を見て勝手に評価をしながら歩くようになりました。

まだまだ覚えることも沢山あり、壁にぶつかることもあります。分からない事は調べたり、経験豊富な上司にアドバイスを貰ったり…1つずつ確実に覚え、1日でも早く一人前になれるよう全力で頑張ります！

建設業に入って

佐藤建設工業株式会社

高橋 海斗



建設業に入って、気がつけば5年目になります。私は、普通科高等学校卒業でしたので工業系の知識は全くありませんでした。ゼロからのスタートでしたので、不安が大きかったのを覚えています。まず、入社してすぐに先輩方から測量の方法を教えてもらいました。そして必要な建設機械の免許・資格の取得を行いました。毎日現場に出ることで先輩監督の指導の元、1日の流れや現場でのマナー・知識を少しずつ理解し学ぶことができたのかと思います。

最初に、任された仕事は舗装のクラックを補修する『クラック注入工』でした。監督として、現場の工程管理・品質管理・安全管理を常に考えながら、指示をして行う事は責任が大きく、悩む事もありました。そんな中、いつも先輩方々が励まし、助けてくれました。周囲のサポートがあったから

こそ、現場を無事に完成することができ、この時にやりがい・達成感を得たように思います。

今では、新入社員も入り少しずつ指導する立場になってきています。まだまだ自分は未熟ですが、先輩や周りの方の知識・技術を学び、吸収して一人前の技術者になれるよう努力していきたいと思っています。



クラック注入工の様子

流動わだちの要因と対策について

ニチレキ株式会社 関東支店 技術課

澤田 美那子



1. はじめに

近年、地球温暖化に起因した気温の上昇や物流の効率化に伴う車両の大型化など、舗装を取り巻く状況は大きく変化しています。栃木県内においては、ひび割れによる損傷が大半を占めていましたが、最近では交差点付近において写真-1に示す「流動わだち」による損傷が目立ってきています。

そこで本稿では流動わだちの要因と対策の考え方について解説します。

2. 流動わだちの発生要因

流動わだちの発生要因は下記の3つが考えられます。

- ①温度:気温の上昇に伴う路面温度の上昇
- ②荷重:交差点の手前などにおける制動荷重
- ③速度:交通渋滞に伴う車両の低速走行

一般に、アスファルト混合物のわだち掘れ抵抗性の評価には、写真-2に示すホイールトラッキング試験が用いられます。図-1に示すとおり、①温度の上昇②荷重の増加③走行速度の低下を模擬した条件で試験を行うと、わだち掘れへの抵抗性を表す動的安定度=DS（値が大きいほどわだち掘れ抵抗性が高いことを表す）が著しく低下し、特に「①温度の上昇」による影響が大きいことがわかります。

この温度の上昇に着目すると、今年度の下野市内の路面温度は図-2に示すとおりで、晴れの日では約70℃と、従来考えられていた夏場の路面温度（60℃）より10℃程度高い傾向にあります。このことから、流動わだちの主たる要因は、気温上昇に起因した路面温度の上昇であると考えられます。

具体的には、防水材（HQハイブレンAU）とアスファルト混合物が接着性に優れる特殊改質アスファルトを適用した舗装接着材（HQコートAU）により強固に接着するため、舗装のズレやポットホール の発生を防止することができます。また、コンクリート床版および防水材との接着性に優れるエポキシ樹脂を適用した床版用接着材（AUプライマー）により、コンクリート床版と防水材（HQハイブレンAU）の接着力を高めています。これにより、コンクリート床版内部の気泡や水分の膨張等によって生じる、防水材や舗装の膨れ（プリスタリング）の発生に対しても高い抵抗性があります（図-2）。



写真-1 流動わだちの状況



写真-2 WT試験



図-1 動的安定度

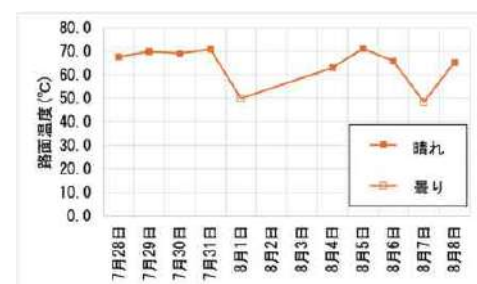


図-2 夏場の路面温度(下野市内)

3. 対策の考え方

一般的なわだち掘れ対策には、通常のアスファルトよりもDSの高い改質アスファルトが用いられます。また、表-1に示すとおり、改質アスファルトには改質Ⅱ型やⅢ型といった汎用のものからわだち掘れ抵抗性に特化した改質アスファルトがあり、代表的なDS値も大きく異なっています。特殊な改質アスファルトとして、弊社の「コンテナファルトS」を適用した事例は写真-2、3に示すとおりで、わだち掘れが顕著にみられた路線においても供用2年時点ですが良好の状態を維持していることがわかります。

ただし、すべての路線にこのような特殊な改質アスファルトを適用することは予算的に難しい状況のため、その路線の環境（渋滞箇所等）に応じた適切な改質アスファルトを選定することが重要となります。

表-1 アスファルトの種類と動的安定度

アスファルトの種類	60℃におけるDS(回/mm)
通常のアスファルト (StAs)	600
改質Ⅱ型	5000
改質Ⅲ型	8000
コンテナファルトS	12000



写真-2 施工前



写真-3 施工後(供用2年)

4. 改質アスファルトの選定方法

改質アスファルトの選定方法として、舗装設計便覧に記載されている「動的安定度～わだち掘れ量～供用期間の関係を示す式」(式1)を用いた手法をご紹介します。

$$DS = 0.679(Y \cdot T \cdot W \cdot V \cdot Ct / D) \text{ 式1}$$

DS: 動的安定度(回/mm) Y: 供用日数(日) T: 大型車交通量(台/日)

W: 輪荷重補正係数 V: 走行速度補正係数 Ct: 温度補正係数

D: わだちばれ量(mm)

路線①:市町村道の交差点付近

[設計条件]交通量区分N4、設計期間10年、

管理基準35mm

図-3に示すとおり、路面温度60℃を想定した条件では、StAsで十分でしたが70℃を想定した条件では改質Ⅱ型を用いないと設計期間より早く管理基準に達してしまうことがわかります。

路線②:県道の交差点付近

[設計条件]交通量区分N6、設計期間20年、

管理基準30mm

図-4に示すとおり、路面温度60℃を想定した条件では、改質Ⅲ型で十分でしたが70℃を想定した条件ではコンテナファルトSを用いないと設計期間より早く管理基準に達してしまうことがわかります。

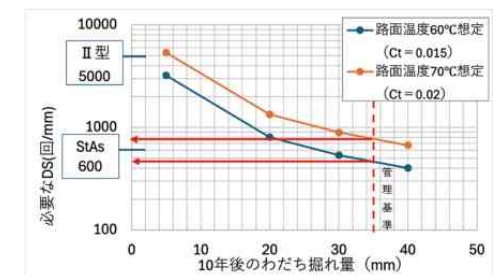


図-3 10年後のわだち掘れ量と必要なDSの関係(路線①)

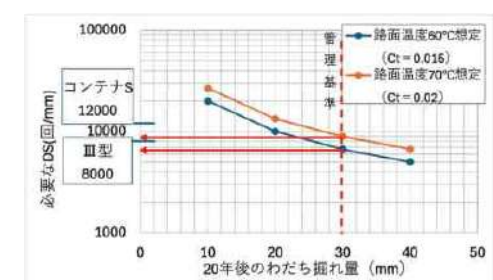


図-4 20年後のわだち掘れ量と必要なDSの関係(路線②)

5. おわりに

本稿で紹介した「流動わだち」は舗装の損傷形態の一つです。その他の損傷についても、損傷に至った「要因」を特定し、同じ損傷を繰り返さないように適切な「対策」を行うことが重要になります。今回の内容が今後の舗装設計の一助になれば幸いです。



優良安全管理現場代理人を受賞して

岩原産業株式会社 鈴木 元大

この度、優良安全管理現場代理人として表彰を賜り、誠にありがとうございます。

今回の工事を無事故・無災害で完成できましたのは、発注者様をはじめとする関係各位のご指導、ご協力、並びに地域の皆様のご理解の賜物で、心より感謝申し上げます。

本工事は国道408号における未供用区間と共用区間を対象とした現場であり、多数の隣接施工業者との調整を要しました。

工程管理においては、第三者の安全確保を最優先とし、協力業者や隣接業者との情報共有を徹底することで、円滑な施工体制を築くことができました。

今回の現場を通じて、コミュニケーションの重要性を再認識する機会ともなりました。

今後もこの度の表彰を励みとし、施工条件や現場条件を十分に把握し、適切な安全管理を実施することで、引き続き無事故・無災害を達成できるよう努めてまいります。

この度は、誠にありがとうございました。



優良安全管理現場代理人を受賞して

栃舗建設工業株式会社 竹内 康祐

この度は優良安全管理代理人として表彰をいただき、誠にありがとうございました。

現場を無事故・無災害で完成させたことは各関係機関の皆様のご指導や地域の住民のご協力・ご理解のおかげであります。この場を借りて御礼申し上げます。また、貴重な時間を割いて現場パトロールをしてくださった舗装協会安全委員会の皆様にも深く感謝申し上げます。

本現場は、開通日がすでに決まっており、そこまで工事を完遂させなければいけない時間的制約と、各隣接工区の出入り口が含まれている場所的制約を抱えている現場でありました。また、一部現道を規制するために夜間工事と昼間工事を交互に行う必要がある等、体力的にも厳しい現場であったと感じています。

それらの制約を抱えている中、下請け業者様・隣接工区の代理人様と相談・協力を行いながら工事を進めることで些細なトラブルも起きることがなく現場を完遂させることが出来ました。

今後もこの度の経験を基に安全意識をより高めながら現場に臨めるよう精進していきます。改めまして、この度は名誉ある賞に選んでくださりありがとうございました。



優良安全管理現場代理人を受賞して

上岡土建株式会社 佐藤 共彦

この度は、優良安全管理現場代理人として、選定して頂き大変光栄に思っております。

この受賞は、偏に自分だけの力ではなく、県土整備部の監督員並びに関係職員の皆様、又、この工事に関連された近隣住民の方々、協力会社の皆様の多大なるご理解とご協力の下、無事故、無災害で完工できたものであり、工事にご協力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

本工事は、一般国道352号及び主要地方道宇都宮亀和田栃木線の交わる交差点の道路改良工事であり、現道部(通行帯)が大型車両のすれ違いも保ならないうえに朝夕の交通量も多く普段から車両同士の接触事故等があるような場所でした。

当工事は、改良工事であるため、車線規制を余儀なくされましたが、規制区間をできるだけ短くし、交通事故のリスクを回避するよう努力しました。又、他工区と隣接していたので、綿密に連絡調整を行い規制方法・時期・時間帯を協議し安全面を考慮し計画を立て施工に臨みました。また、吊り荷作業等を行う際にオペレーター作業員の目につきやすい場所に、クレーン作業の合図・玉掛け方法といった小看板を配置し注意喚起をうながし安全意識の向上に努め施工を行いました。

今後もこの受賞を励みとし、奢ることなく、より一層安全に心がけ無事故無災害で完工し、地域発展へ貢献できるように努力していきたいと思います。

最後に、当に協力して下さった皆様に心より感謝申し上げます。



優良安全管理現場代理人を受賞して

神谷建設株式会社 赤羽根 賢治

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき誠にありがとうございました。

工事が無事故・無災害で完成できたことは、鹿沼土木事務所様をはじめ、各関係機関のご指導、地域住民の皆様のご理解、ご協力であり、ならびに工事に携わっていただいた関係者の方々のご協力があったことだと思っております。

本工事は、老朽化したJR日光線の武子川陸橋架替工事に伴う工事用道路であり、交通量の多い県道からの出入りになるため「安全はすべての作業に優先する」を第一に、その考えを工事従事者に伝え、安全意識の高揚に努め施工にあたりました。また、施工中は第三者にどれだけ工事について理解していただけるかだと思い、問い合わせがあったときは、誰もが説明出来るような体制を取り、現場が円滑に進むように努めました。

昨今の建設工事では、現場代理人に求められる課題が多様化しつつあるなか、更なる現場内での安全を確保しつつ、無事故・無災害で施工し継続していきたいと思います。またICTを含む新技術を積極的に取り組み、地域の発展のために全力を尽くしたいと思います。



優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社浜屋組 高野 英人

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき、誠にありがとうございます。

工事を無事故、無災害で完成させることができたのは現場に携わって下さった各関係機関のご指導、地域住民の皆様のご理解、一緒に工事を行った協力業者の皆様のご協力があったの事だと心より感じております。

本工事は舗装改良工事であり市街地での交通規制が伴う為、一般車両の安全誘導及び交通渋滞削減が課題でした。国道461号交差点付近での信号機点滅による交通規制の方法について、所轄警察署及び警備会社との事前打合せを密に行い、日々の施工区割における交通規制図・安全施設の配置図・ハザードマップを作成し安全教育・朝礼時に周知徹底することにより、地域住民、第三者からの苦情等も無く、無事故・無災害で完成することができました。

今後もさまざまな現場条件に応じた柔軟な安全管理に努め、工事に携わる皆様が安全で快適な作業環境を提供できるよう心掛けていきたいと思ひます。



優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社猪股建設 松本 知大

この度は、優良安全管理現場代理人という大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございました。

今回の工事を最後まで無事故無災害で無事竣工できたことは、現場に携わっていただいた各関係機関の皆様、協力業者の皆様、地域住民の皆様のご協力があったの事であり、心より感謝申し上げます。

本工事は住宅街を通る市道の舗装修繕工事であり、朝夕の通勤時間帯の交通量が多く、第三者災害防止の安全対策に留意した現場でした。

路盤解放時段差での一般車両の事故防止のため、夜間照明や工事看板の設置をこまめに行い、危険箇所の周知を図りました。

今回の表彰に満足することなく、これからも現場代理人としてより一層安全管理に努め、日々の現場管理を行っていききたいと思ひます。



優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社谷黒組 工藤 実

この度は、優良安全管理現場代理人として表彰を頂き誠にありがとうございます。工事が無事完成出来たのは、各関係者皆様のご指導とご協力の御蔭と心より感謝申し上げます。

本工事は、両側に工場やショッピングセンターがあり、通勤や生活通路を確保した道路改良工事で、第三者が安全に通行できる事を重点とし、安全管理及び安全設備設置を行い、関係機関と打合せをし施工毎の交通規制を計画実施し施工を行い、また開放時後の夜間でも視認性を確保できるようソーラー式の照明機器を設置し、夜間の交通災害防止を行いました。商業施設等の出入口箇所の作業では、関係者及び利用者の影響の無い施工日や時間の打合せを行い夜間施工を実施し、利用者の通行を確保しました。工事期間中、苦情やクレーム及び事故発生も無く無事完成する事ができました。

今後の工事においても、第三者災害の防止や施工時における労働災害を防止して、地域への利便性向上を図れるような物づくりをしていきたいと思ひます。





調整池設置工事 黒磯那須BPその1 (快安道補) 施工会社／株式会社生駒組

知事表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の調整池設置工事 黒磯那須BPその1 (快安道補)におきまして知事表彰を賜り、大変光栄に存じますとともに、心より御礼申し上げます。

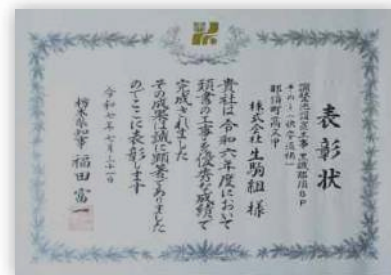
本工事は、黒磯那須バイパスにおける道路の雨水排水を、一時的に貯留する調整池を新設する工事で、ICTをフルに活用し工事の円滑な施工と工期短縮を図りました。

那須街道よりの進入路が狭小な中、一般車両や他工事関係車両が頻繁に通行することから、安全確保が重要な課題となりました。

そこで、協議会で関係各社と綿密な連絡調整を行い、安全対策を徹底し、無事故で工事を完了することができました。

これもひとえに、発注者様をはじめ、地域の皆様、関係各社の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この度の受賞を励みに、今後もより一層品質・安全管理に真摯に取り組み、信頼される施工を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



■工事概要

●発注機関／大田原土木事務所

●工事名／調整池設置工事 黒磯那須BPその1 (快安道補)

●工事箇所／那須町高久甲



道路改良工事 黒磯那須BPその5 (快安道補) 施工会社／石川建設株式会社

知事表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の「道路改良工事 黒磯那須BPその5 (安全道補)」におきまして、栄えある知事表彰を賜り、心より御礼申し上げます。

本路線は、那珂川の晩翠橋上流に架かる新設橋梁名も「つつじ大橋」と決まり、令和8年度供用開始 (予定)をするものです。

本工事は、那珂川右岸の那須塩原市側における道路改良工事(L=112m)であり、生産性向上や品質確保を目的にICT施工管理を行いました。道路土工における掘削工では、掘削深さがH=10mを超え切土法面も広範囲となり、大雨降雨時に法面の浸食や崩壊を防止するため、特に養生には注意して行いました。

また、現場は高低差があり掘削法面が長いことから、毎日、工事範囲の外周を点検、地域の散歩路の補修を行い、第三者の立ち入り禁止を維持し安全確保に努めました。

この現場においては、インターンシップ事業を積極的に受け入れ現場見学会を実施、那珂川河畔公園での地域イベントにあっては、参加者と親睦を深めるとともに工事の進捗や説明を行い、事業のPR活動も行ってきたところです。

今後もこの度の栄誉を励みに、安全第一、技術と品質の向上に励み、さらなる地域の発展に貢献し、地域から信頼される企業として努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



■工事概要

●発注機関／大田原土木事務所

●工事名／道路改良工事 黒磯那須BPその5 (快安道補)

●工事箇所／那須塩原市黒磯



舗装修繕工事 400号その1(道保全単) 施工会社／株式会社大岩建設

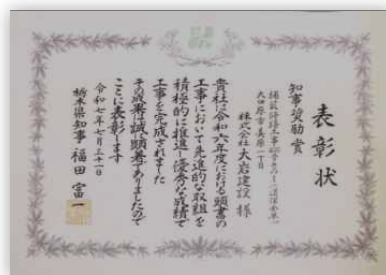
知事奨励賞 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の「舗装修繕工事 400号その1」におきまして、栃木県知事奨励賞と大変名誉な賞を頂きました事、心より御礼申し上げます。

本工事は、国道400号と市道大田原野崎線の交差点において、路面切削及びオーバーレイによる舗装修繕工事を夜間施工にて実施いたしました。本工事の課題として、施工箇所は大田原市の中心地であり夜間の交通量も多く、さらに大型車の通行も多いことを踏まえ、安全の観点から舗設後はできるだけ早い交通開放が必要であるため中温化合材を使用することとしました。中温化合材を使用することで早期の交通開放が可能だけでなく、加熱アスファルト混合物の製造時におけるCO2排出量の削減につながることや、熱中症対策としても通常のアスファルト混合物よりも数均温度が約20℃低い中温化合材の使用は有益であると考えました。

また、施工する交差点部は、交差する道路がどちらも片側2車線と広さがあり、現場内で一般車両の切り回しが可能だったため、縦断方向(国道方向)に4分割をして施工することで、アスファルトフィニッシャーの引き出し・切り替え等で余分な時間を使うことなく、早期の交通開放の実現と、国道における走行性の向上に繋がったと思います。このような条件下で、無事故・無災害で全工程を終了できたことは、監督員をはじめ関係機関の皆様、その他多くの方からのご指導及びご協力があったの事と心より感謝を申し上げます。

今後もこの栄誉を励みに、安全第一・高品質な施工に努め、地域の担い手として貢献して参りますのでご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



■工事概要

- 発注機関／大田原土木事務所
- 工事名／舗装修繕工事 400号
その1(道保全単)
- 工事箇所／大田原市美原



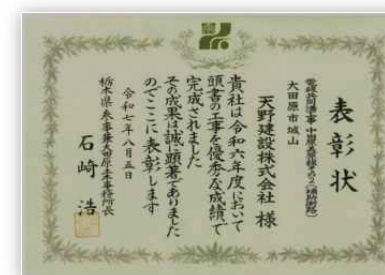
電線共同溝工事 中田原美原線その2(補助街路) 施工会社／天野建設株式会社

所長表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の「電線共同溝工事 中田原美原線その2(補助街路)」におきまして、大田原土木事務所管内所長表彰を賜り、大変光栄であり、心より御礼申し上げます。

本工事は、大田原市中心部の道路に電線共同溝を新設するもので、道路改良を伴うため、地域の交通や生活への影響を最小限に抑えつつ、安全かつ確実に施工を進めることが求められました。現場では多くの課題に直面しましたが、所員一同が力を合わせ、協力業者の皆さま、そして監督職員の皆さまからのご指導とご支援により、無事に竣工へと至ることができました。

完成した道路は、人々が日常の中で何気なく歩き、走り、車で往来する場所です。しかし、その足元には数多くの努力や工夫が積み重なっています。今回の表彰は、その積み重ねを評価いただいた証であり、私たちにとって大きな励みとなりました。今後も感謝の気持ちを忘れず、地域の暮らしを支える道づくりに誇りを持ち、貢献してまいります。



■工事概要

- 発注機関／大田原土木事務所
- 工事名／電線共同溝工事
中田原美原線その2
(補助街路)
- 工事箇所
／大田原市城山



道路改良工事 408号真岡宇都宮BPその5(快安道補) 施工会社／株式会社菊地組

所長表彰 受賞現場に ついて

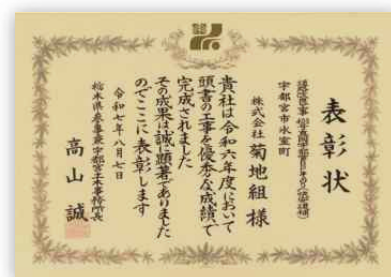
この度は、当社施工の「道路改良工事 408号真岡宇都宮BPその5(快安道補)」において宇都宮土木事務所長優良建設工事表彰を賜り大変光栄に思います。本工事は、一般国道408号と一般国道123号が交差する清原工業団地交差点(現在は清原工業団地南ランプ)を立体交差化する工事の一端を担っている道路改良工事です。

施工箇所は、朝夕の通勤渋滞が毎日発生し、施工箇所内の信号交差点は、路線バスが走り隣接する運送会社の大型トレーラーが365日24時間不定期に出入りする場所でした。その交差点は、24時間大型トレーラーの通行を確保しつつ交差点内を分割して施工することが急務となりましたが、現状の道路を工夫して仮設道路を製作し隣接工区の施工業者と工程調整を行い通行帯の変更を行い、交

差点内の改良工事は無事故・無災害で完了することが出来ました。

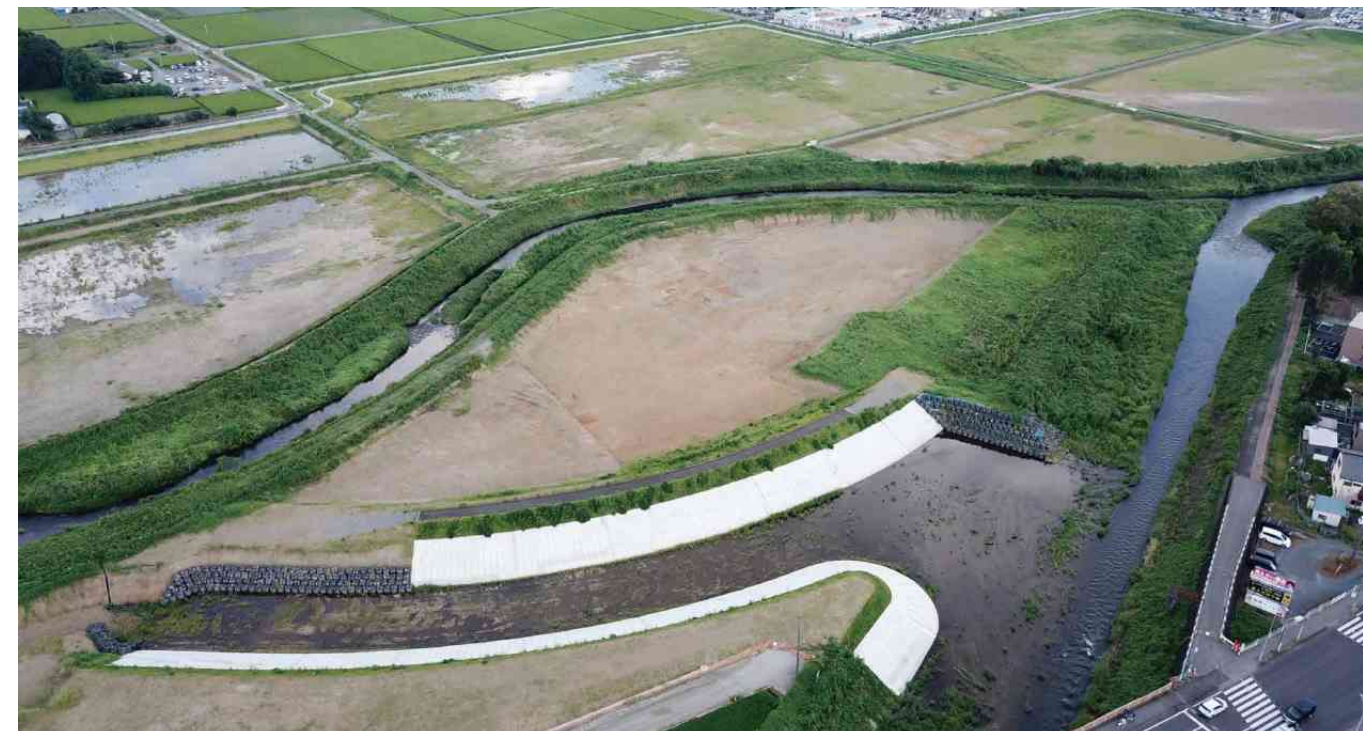
これもひとえに隣接する運送会社さんをはじめとする地域住民の方々、ご指導いただいた監督職員の皆様、ご尽力いただいた協力業者の皆様があつての事と心より感謝申し上げます。

この度の栄誉を励みに安全第一で高品質な施工を心掛け、地域社会の発展に貢献してまいりますのでご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。



■工事概要

- 発注機関／宇都宮土木事務所
- 工事名／道路改良工事 408号
真岡宇都宮BPその5(快安道補)
- 工事箇所／宇都宮市氷室町



一級河川田川 岩曾調節池整備工事その7(浸水重点) 施工会社／小平興業株式会社

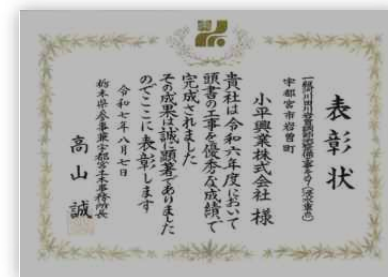
所長表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の「一級河川田川 岩曾調節池整備工事その7(浸水重点)」におきまして宇都宮土木事務所管内所長表彰を賜り大変光栄に思います。

本工事は令和元年東日本台風で甚大な浸水被害が生じたことを受けて、宇都宮市内で特に被害の大きかった田川と山田川合流点(宇都宮市岩曾町)から給分堰(宇都宮市川田町)までの6.5km区間の「浸水対策重点地域緊急事業」の一部の工事となります。

山田川合流点の法覆護岸と岩曾調整池の間の築堤の天端道路の為、幅員が狭く施工しづらい場所でありましたが、無事故・無災害で完成することができました。これもひとえに、ご理解ご協力いただきました地域住民の皆様、ご指導いただきました監督職員の皆様、ご尽力いただきました協力業者の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後も、この度の栄誉を励みに安全第一、高品質な施工を心掛け地域社会の発展に貢献してまいりますのでご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



■工事概要

- 発注機関／宇都宮土木事務所
- 工事名／一級河川田川 岩曾調節池
整備工事その7(浸水重点)
- 工事箇所／宇都宮市岩曾町



舗装修繕工事 121号その12(道保全単) 施工会社／株式会社千葉建設

所長表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社施工の舗装修繕工事 121号その12(道保全単)に於いて宇都宮土木事務所管内所長表彰を賜り大変光栄であり、社員一同心より御礼申し上げます。本工事は、宇都宮市砂田町地内の一般国道121号線インターパーク入口交差点からの舗装修繕工事となります。

幹線道路・大型ショッピングモールのアクセス道路により交通量を緩和する為、夜間施工とし安全、騒音振動等には、格段の配慮をしました。沿線部の住民及び商店の方々には、作業内容や交通規制について十分に説明を行いご理解いただけるよう尽力いたしました。又夜間施工なので、人員を増強しできるだけ作業日数の短縮をはかり、無事故・無災害で完成させる事が出来ました。

工事の施工にあたり、ご理解ご協力いただきました地域住民の皆様、ご指導いただきました監督職員の皆様、ご尽力いただきました協力会社の皆様にはこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

今後も、この度の栄誉を励みに安全第一、高品質な施工を心掛け、地域社会の発展に貢献してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



■工事概要

- 発注機関／宇都宮土木事務所
- 工事名／舗装修繕工事
121号その12(道保全単)
- 工事箇所／宇都宮市砂田町



調整池設置工事 親園佐久山BPその7(快安道補) 施工会社／那須土木株式会社

所長表彰 受賞現場に ついて

この度、弊社施工の「調整池設置工事 親園佐久山BPその7(快安道補)」におきまして大田原土木事務所 所長表彰を賜りましたことは大変光栄であり、工事関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

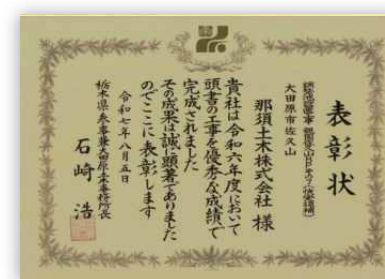
本工事は、令和7年度完成予定の大田原市佐久山に新設している親園佐久山バイパス工事の一部で、道路の雨水排水を一時的に貯留し簗川へ放流するための調整池で、盛土量約10,000m³を造形し、延長L=81.0m、幅W=25.5mの調整池工事でした。

外側法面を防草シートで覆い、内面法面はブロックマットを設け、その中へ河川への放流施設を構築しました。

また、調整池天端から外部に接続する管理用道路は、幅員が狭くアスファルト合材を直接搬入することができず、小型重機を駆使して安全に配慮し無事故で完成することができました。

発注者の皆様をはじめ、工事関係者並びに協力関係会社・近隣の皆様にはご指導・ご尽力を頂き心より感謝申し上げます。

今後も、安全第一で高品質な施工を心掛け、地域社会の発展に貢献してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



■工事概要

- 発注機関／大田原土木事務所
- 工事名／調整池設置工事 親園佐久山BPその7(快安道補)
- 工事箇所／大田原市佐久山地先

* 令和7年度 優良建設工事技術者表彰 *

県が発注し、県内の建設業者が施工した建設工事を令和2年度から令和6年度に優秀な成績で完成した技術者として、以下の当協会会員社の16名が、この度、栃木県優良建設工事技術者の表彰を受けられました。

今後とも、皆様のご活躍に大いにご期待申し上げ、心よりお祝い申し上げます。

No.	氏 名	所 属	No.	氏 名	所 属
1	赤 羽 弘 正	宇都宮土建工業(株)	9	小 出 政 昭	桜 岡 建 設 (株)
2	生 駒 浩	(株) 生 駒 組	10	小 松 薫	(株) 丸 あ 組
3	石 川 孝	山 本 建 設 (株)	11	近 藤 慎 也	(株) シ ン エ ヌ
4	伊 藤 豊	岩 澤 建 設 (株)	12	高 野 英 人	(株) 浜 屋 組
5	江 川 武 志	(株) 東 部 興 業	13	高 橋 勇 気	渡 辺 建 設 (株)
6	大 場 寛 司	(株) 浜 屋 組	14	手 塚 正 勝	(株) 佐 藤 組
7	岡 崎 奨太郎	(株) 薄 井 土 木	15	松 田 輝 道	佐藤建設工業(株)
8	倉 井 美 裕	(株) 谷 黒 組	16	渡 辺 優 介	渡 辺 建 設 (株)

* とちぎ建設ネクストマスター *



とちぎ建設ネクストマスターを受賞して

小平興業株式会社 伊藤 大揮

このたび「とちぎ建設ネクストマスター」の受賞、大変光栄に思います。私は重機オペレーターとして現場で技術を磨いてきました。入職当初は思うように機械を扱えず、先輩方に叱咤激励されながら必死で学んだ日々を思い出します。工事の現場は一つとして同じ条件はなく、地盤や天候、周囲の環境に合わせて重機を安全かつ的確に操作する必要があります。その責任の重さに緊張することもありましたが、仲間と力を合わせ形として成果が残る瞬間に大きなやりがいを感じてきました。今回の受賞は、私一人の努力ではなく常に支えてくださった上司や同僚のおかげだと強く思います。これからは自ら学んできた技術や心構えを後輩に伝え、建設業の魅力を次世代へとつなげていくことが私の使命だと考えています。いただいた栄誉を胸に、さらなる技能向上に努め、地域社会の発展に貢献してまいります。



とちぎ建設ネクストマスターを受賞して

株式会社谷黒組 塩田 暉

このたび「とちぎ建設ネクストマスター」という榮譽ある賞をいただき、大変うれしく思っております。これも日頃から温かくご指導くださる上司や先輩方、そして共に現場を支えてくれる仲間のおかげであり、心より感謝申し上げます。私は現場で常に安全を第一に考え、事故を未然に防ぐために細かな手順の確認や危険予知活動を欠かさず行ってきました。交通量の多い場所では、誘導や仮設計画を何度も見直し、地域の皆さまが安心して通行できるよう工夫を重ねました。そうした取り組みの積み重ねが今回の受賞につながったのだと感じております。これからは技術の向上に努めるとともに、次の世代へ経験を伝えながら、栃木の建設業をさらに盛り上げていけるよう努力してまいります。

大規模工事完成



一般国道408号 宇都宮高根沢バイパス 宇都宮市野高谷立体 (2025年1月30日供用開始)

一般国道408号は、千葉県成田市を起点に宇都宮市を經由し高根沢町を結ぶ路線であり、高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する広域道路です。

しかしながら、鬼怒川左岸地域においては慢性的な渋滞が発生していることから、周辺の工業団地群へのアクセスなど、円滑な通行の確保が課題です。

このため、県では、平成21年度から野高谷立体を含む宇都宮高根沢バイパスの整備を進めており、令和7年1月に、野高谷立体 約1.5kmにおいて4車線での供用を開始しました。



野高谷立体の開通により、主要渋滞箇所となっている野高谷ランプ交差点の渋滞緩和と周辺工業団地群へのアクセス性の向上に寄与しました。

■事業概要

- 発 注 機 関／宇都宮土木事務所
- 舗装施工会社／宇都宮市、上三川町の舗装協会員16社



宇都宮工業高校で出前授業を実施 ～ICT舗装・建設業の魅力を高校生へ～

佐藤建設工業株式会社
柳岡 華江



「はじめに」

令和7年5月26日、宇都宮工業高校の3年生を対象に、舗装協会主催の出前授業が行われました。本授業は、建設業界における人材育成や建設DXの普及を目的として企画され、県土整備部や各建設会社の皆様のご協力のもと実施されました。

実施内容1_座学 (ICT舗装・建設DXについて)

授業の前半では、ICT舗装の仕組みや建設DXの最新動向について講義が行われました。ICTの概要や施工の流れ、データ活用の重要性などを紹介し、生徒の皆さんが将来の建設業や業界で活躍するご自身の姿をイメージしやすいよう、具体的な現場写真なども紹介しながら解説しました。(写真1、写真2)

実施内容2_測量体験・機材見学

- 後半の校庭では、測量やICT機器に触れる体験が行われました。
- トータルステーション (TS) を使った距離計測ゲームでは、生徒の皆さんが実際に器械を操作し歩測との比較に挑戦。楽しそうな声が上がっていました。(写真3)
 - 3Dスキャナによる計測デモでは、授業では触れない珍しい器械に大きな関心が寄せられ、取得した点群データを画面上で操作すると興味深そうに説明を聞いていました。(写真4、写真5)

実施内容3 ICT建機 (マシンコントロール (MC) グレーダー) の見学

さらに、事前に校庭をスキャンし作成した施工データを利用し、ICT対応モーターグレーダーの動作を見学。ブレードの自動制御の様子を目の当たりにした生徒の皆さんは「すごい、本当に自動で動いてる!」と驚きの声をあげていました。(写真6)

実施内容4_意見交換・質疑応答

授業の終盤には質疑応答の時間が設けられました。「趣味は?」「初任給はどのくらいか」「仕事でやりがいを感じたこと」といった率直な質問が飛び交い、終始笑い声が聞こえる和やかな雰囲気での交流が深まりました。生徒の皆さんにとって、建設業界を身近に感じる機会となったのではないのでしょうか。

「おわりに」

授業後には、MCにより校庭の整地作業を行い、サッカーコート1面、ハンドボールコート1面が約2.5hという短時間で仕上がりました。ICT技術の効率性を示すとともに、学校関係者の皆様からも大変ご好評をいただきました。

ICT施工は今後ますます普及していく技術です。今回のような取り組みが、将来の担い手育成に大きく寄与すると考えられます。今後もぜひ、こうした取り組みが継続して実施されることを期待いたします。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

舗装協会 視察研修 平泉・松島

栃舗建設工業株式会社 代表取締役 竹内智祐

日程：2024年 9月6日～7日

行程：栃木県 → 中尊寺 → 仙台（泊）→ 松島 ～～ 塩釜 → 栃木県

【1日目】中尊寺到着～毛越寺 朝：舗装協会からバスで中尊寺へ

バスにて栃木県内2箇所にてメンバーを拾い、東北自動車道にて約5時間半。

昼食場所の水沢に到着。昼食後30分ほどで藤原三代のミイラが安置されている中尊寺に。瞬間、東北の空気の清らかさに心がほぐれます。

「金色堂」を中心とする寺院建築を堪能したのち、浄土の世界がひろがる日本を代表する庭園 毛越寺へ、、、日ごろの俗世間にもまれている私には心休まるひとときとなりました。



夜：仙台の露庵うめ治で地酒と三陸の幸を堪能

「会席料理」、地元の日本酒（浦霞・一ノ蔵など）を楽しみながら、地元の人とのちょっとした会話も旅のスパイスに。

このひと時は盛り上がりますね。



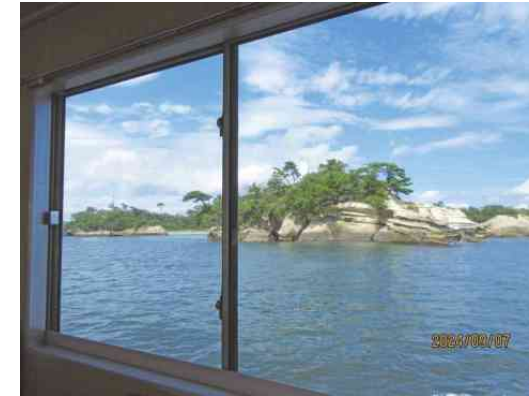
【2日目】松島から遊覧船で塩釜に 朝：仙台から松島海岸へ（バスで約45分）



バスを降りると、そこは「日本三景」の一つ。大小260余りの島々が点在する松島湾は、どこを見ても絵になる絶景。

午前：瑞巖寺五大堂のち遊覧船クルーズ

国宝・瑞巖寺は伊達政宗ゆかりの禅寺。荘厳な雰囲気の中で、静かに歴史を感じる時間。五大堂は海の上に建つ小さなお堂で、透かし橋を渡るスリルも楽しい時間をすごす。



湾内を通る約50分のクルーズで、島々の名前や形の由来を聞きながら、潮風と波の音に癒されながら塩釜港へむかう。

昼：塩釜 武田の笹かまぼこで昼食後塩釜水産物仲卸市場

昼食後の市場の件は『行った人のみの秘密』あまり印象を話せません。甘くとろけるウニに感動したかった、、、

午後：浦霞酒造・菖蒲田海岸防潮堤へ

私には縁遠い場所ですが定番の酒造、皆様それぞれに試飲を楽しんだようでした。

伝承板のある菖蒲田（しょうぶた）海水浴場は日本で3番目、東北では初の海水浴場と国から指定された場所です。震災により、周辺の景色は一変したようですが、現在復興の途中で新しいきれいな道路や建物も目立ち始めています。

自然に対して人間がどこまで手を加えて良いのかは、なかなか判断が難しいところではありますが「東日本大震災」での経験を基に、未来で失われる笑顔を減らせる様になれば良いなあ・・・と思いました。



夕方：バスで栃木へ向けて戻る



名残惜しさを感じつつも、都会？の喧騒から離れて、歴史と自然に包まれた時間を過ごすことができました。また、人の温かさと土地の魅力が心に残りました。怖い面もありますが海はいいです。また季節を変えて訪れたい場所です。

1. 令和7年度(一社)栃木県舗装協会 通常総会

令和7年5月20日 宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和7年度通常総会を開催いたしました。今年度も昨年同様に来賓をご招待しての開催となりました。

開会後、岩見高士会長から「多様な課題に対応するため、行政との連携を強化するとともに、持続可能な舗装業界の実現に向けた努力をしてきましたが、さらに協会員と共によりよい未来を築いていきたい。」との挨拶がありました。

その後、15年と25年の永年勤続優良従業員19名への表彰式を行いました。

議事に入るにあたり事務局から、会員数43名のところ39名の出席で総会が成立することが報告され、令和6年度の事業報告・収支決算及び令和7年度の事業計画・収支予算(案)について、原案通り承認されました。

次いで役員の補充選任が行われ、右記のとおり新役員が就任いたしました。



岩見高士会長挨拶

令和7年度 一般社団法人 栃木県舗装協会 役員 (敬称略)

役 職	氏 名	会 社 名	備 考
会 長	岩 見 高 士	株式会社 浜屋組	
副 会 長	磯 部 尚 士	磯部建設 株式会社	
副 会 長	竹 内 智 祐	栃舗建設工業 株式会社	総務委員長
理 事	荒 井 学	宇都宮土建工業 株式会社	
理 事	岩 見 武	株式会社 大岩建設	
理 事	天 野 雅 彦	天野建設 株式会社	技術委員長
理 事	丸 山 隆 重	丸山重機 株式会社	広報委員長
理 事	菊 池 祥 一	山本建設 株式会社	
理 事	吉 澤 定 男	吉沢建設 株式会社	安全管理委員長
理 事	増 渕 勝 明	株式会社 増渕組	
理 事(新)	渡 辺 眞 幸	渡辺建設株式会社	
専務理事	阿久津好光	一般社団法人 栃木県舗装協会	
監 事	岩 澤 賢 典	岩澤建設 株式会社	
監 事(新)	野中伸之助	野中建設株式会社	

顧 問	木 村 好 文	栃木県議会議員	
顧 問	蝶 良 昭 人	栃木県議会議員	
顧 問	神 谷 幸 伸	栃木県議会議員	

相 談 役	菊 池 茂	(元) 栃木県舗装協会長	
相 談 役	岩 澤 理 夫	(前) 栃木県舗装協会長	

(令和7年5月20日現在)

2. 令和7年度永年勤続優良従業員表彰

令和7年5月20日 令和7年度(一社)栃木県舗装協会通常総会において、永年勤続優良従業員として19名の方々の表彰式がおこなわれました。

受賞されました皆様方の、これからのさらなるご活躍をご祈念申し上げます。



永年勤続優良従業員表彰受賞者

令和7年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第1項該当者)15年 (敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤続期間	勤続年数
天 野 建 設 (株)	工 務 部 課 長	山 下 正 人	平14. 4 ～ 令 7. 3	23年
伊 藤 技 建 (株)	工 事 主 任	関 口 勝 美	平21. 9 ～ 令 7. 3	15年
(株) 大 岩 建 設	管 理 部 係 長	阪 倉 聡 美	平21. 5 ～ 令 7. 3	15年
(株) 大 岩 建 設	維 持 課 係 長	阿 部 祐 司	平21.10 ～ 令 7. 3	15年
東 武 建 設 (株)	係 長	鈴 木 瑛 一	平22. 4 ～ 令 7. 3	15年
那 須 土 木 (株)	土木部土木課課長代理	田 村 和 也	平20. 5 ～ 令 7. 3	16年
(株) 増 渕 組	参 与	高 田 昇	平19. 5 ～ 令 7. 3	17年

令和7年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第2項該当者)25年 (敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤続期間	勤続年数
天 野 建 設 (株)	工 務 部 次 長	関 康 博	昭64. 4 ～ 令 7. 3	36年
磯 部 建 設 (株)	安全システム部部长	鵜 飼 泰 富	昭63. 4 ～ 令 7. 3	37年
岩 澤 建 設 (株)	工 事 部 主 任	中 田 循 司	昭62. 4 ～ 令 7. 3	38年
岩 澤 建 設 (株)	工 事 部 主 任	茂 木 克 之	昭62. 4 ～ 令 7. 3	38年
宇 都 宮 土 建 工 業(株)	副 部 長	大 木 誠	昭62. 3 ～ 令 7. 3	38年
宇 都 宮 土 建 工 業(株)	副 部 長	川 上 洋	平 1. 3 ～ 令 7. 3	36年
神 谷 建 設 (株)	土 木 部	内 山 治	平10. 5 ～ 令 7. 3	26年
(株) 菊 地 組	次 長	五 月 女 顕	平 5. 4 ～ 令 7. 3	32年
(株) 谷 黒 組	土 木 部	関 谷 郁 夫	平11. 4 ～ 令 7. 3	26年
丸 山 重 機 (株)	工 事 部 課 長	星 青 毅	平12. 4 ～ 令 7. 3	25年
丸 山 重 機 (株)	工 事 部 係 長	吉 澤 明	平12. 4 ～ 令 7. 3	25年
渡 辺 建 設 (株)	土 木 部 所 長	石 塚 弘 之	昭58. 3 ～ 令 7. 3	42年

3. 令和7年度安全衛生大会・安全衛生セミナー

令和7年6月12日、宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、建設業労働災害防止協会栃木県支部と栃木県アスファルト合材協会との共催で開催しました。



岩見高士舗装協会長挨拶

【安全衛生大会】

舗装協会の岩見高士会長の挨拶に続いて、小野崎弘明安全管理副委員長からの安全バトロールの結果講評に続き、優良安全管理現場代理人表彰が行われ、7名の方々に表彰状と記念品が贈られました。

表彰されました皆様方の、これからのさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

その後、安全管理委員会 北部B班長 大木 一仁氏(天野建設㈱)が安全宣言を読み上げました。



令和7年度優良安全管理現場代理人表彰受賞者



安全宣言 大木一仁氏

令和6年度優良安全管理現場代理人表彰名簿(敬称略)

	氏名	会社名	工事名(箇所)
東部B	鈴 木 元大	岩 原 産 業 (株)	一般国道408号 舗装工事408号 真岡宇都宮BPその4(快安道補) 宇都宮市氷室町
西部A	竹 内 康祐	栃舗建設工業(株)	一般国道408号 舗装工事408号 宇都宮高根沢BPその1(快安道補) 宇都宮市刈沼町
西部B	佐 藤 共彦	上 岡 土 建 (株)	一般国道352号 道路改良工事 352号その1(快安道補) 鹿沼市北赤塚
西部B	赤羽根 賢治	神 谷 建 設 (株)	一級河川武子川 工事用道路設置工事 武子川その1(大規模河) 鹿沼市深津
北部A	高 野 英人	(株) 浜 屋 組	市道末広町5号線 舗装改良工事 矢板市末広
北部A	松 本 知大	(株) 猪 股 建 設	市道町島上深田線 市道町島上深田線舗装修繕工事 大田原市町島外
北部B	工 藤 実	(株) 谷 黒 組	市道西富山西三島線 R5国道4号西那須野道路西富山地区外改良舗装工事 那須塩原市西富山地区内

【安全衛生セミナー】

安全衛生セミナーは、建設業労働災害防止協会栃木県支部 教育部長 山田 和昭氏により、「建設業における労働災害の現状とその防止に向けた取組み」と題してご講演をいただきました。



講演者 山田和昭氏

4. 令和7年度暴力対策連絡大会

令和7年度安全衛生大会に引き続き「ホテルニューイタヤ」で開催しました。

暴力対策連絡大会は、平成24年4月に「栃木県暴力団排除条例」が施行されたことから開催しております。

磯部 尚士栃木県アスファルト合材協会長の挨拶後、公益財団法人栃木県暴力追放県民センター専務理事白土 英智氏より、「暴力団による不当要求対策」と題したビデオを鑑賞後、ご講演をいただきました。

その後、決意表明を栃木県アスファルト合材協会理事 小林徹郎氏が読み上げ、閉会となりました。



磯部尚士合材協会長挨拶



講演者 白土英智氏



決意表明 小林徹郎氏

5. 県土整備部との舗装事業に関わる意見交換会

令和6年12月23日に栃木県庁本庁舎15階第5会議室において、栃木県県土整備部と舗装事業に関わる意見交換会を開催しました。県土整備部から、小野次長、星野次長以下関係課長にご参加いただき、岩見会長から小野次長へ舗装協会からの要望書をお渡しし、その後、県幹部の皆様と要望内容について意見交換を行いました。



要望書提出



意見交換会の状況

6. 令和7年度春季親睦ゴルフコンペ

会員の親睦交流のために年2回(春秋)開催を予定しており、令和7年度春季コンペは6月19日に宇都宮カンツリークラブで開催しました。



7-1. 令和6年度 第1回 安全パトロール

令和6年10月10日から10月30日の間、安全管理委員会による第1回安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の工事現場9箇所について、安全管理委員が6班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。(東部Bの調査箇所はなし)

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、及び現場難易度6項目を各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い必要に応じ注意・指導を行いました。

今回のパトロールでは工事の進捗である出来高が平均で75.0%、そして評価点数で最高96.1点、最低70.7点となり、平均

では87.0点という状況でした。

これからも現場や現場周辺の安全を確保するため、今般のパトロールにおける注意事項や指導事項を改善し、周辺環境に十分配慮した安全管理を行い、工事現場周辺も含めて事故防止に努めていただきたいと思います。

●パトロール結果の評価

1. 重機車両への輪止めの設置が良好である。
2. 他工種競合での交差点工事だが、交通規制や警備員の配置が良好である。
3. 現場事務所・施工箇所の安全管理が良好である。
4. 現場事務所にアルコールチェッカーが設置されていた。

●パトロール結果からの是正事項

1. 矢印看板に重りを設置し、風散防止に努めること。
2. 停車中機械の鍵の抜き忘れや、車止めの設置に注意すること。
3. ワイヤロープの点検はされているが、色別等の工夫があると更に良いと思われる。

●現場で苦慮している事項

1. スピードを出して走行の車両が多い(減速サインを大きくし対応)。
2. 隣接業者との作業工程調整等が必要。
3. 現況道路が狭いうえに交通量が多く、大型車両の通行も多いので、第三者対策に苦慮している。



東部A



西部A



西部B



南部



北部A



北部B

7-2. 令和6年度 第2回 安全パトロール

令和7年1月30日から2月19日の間、安全管理委員会による第2回安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の工事現場12箇所について、安全管理委員が7班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、及び現場難易度6項目を各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い必要に応じ注意・指導を行いました。

今回のパトロールでは工事の進捗である出来高が平均で59.5%、そして評価点数で最高が90.7点となり、平均では70.1点という状況でした。

●パトロール結果の評価

1. 現場事務所だけでなく施工場所にも仮設トイレが設置され、作業環境の向上に努めている。
2. イメージアップ標識や、危険予知8項目が表示されている。
3. ICTをフルに活用している。
4. 防犯カメラが設置されており、セキュリティ対策が良好である。

●パトロール結果からの是正事項

1. ガードレール未施工箇所にロープ及びカラーコーンを設置したほうが良い。
2. 現場出入口が複数あり、交通誘導員が配置されていないなら、出入口は完全に閉鎖するなど、第三者の侵入防止対策をはかる必要があるのでは。
3. ワイヤロープの点検はされているが、色別等の工夫があると更に良いと思われる。

●現場で苦慮している事項

1. スピードを出して走行する車両が多い。
2. 隣接工事であり、他工区の出入口となることによる工程の調整に苦慮している。
3. 市街地の現場なので、事務所や資材置き場が現場と離れており、何かと不便なことが多い。



東部A



東部B



西部A



西部B



南部



北部A



北部B

●パトロール実施状況 (1月30日～2月19日)

班 名	実 施 日	調査箇所数
東 部 A	2月 4日(火)	1箇所
東 部 B	2月 4日(火)	1箇所
西 部 A	1月30日(木)	1箇所
西 部 B	2月19日(水)	3箇所
南 部	2月 5日(水)	1箇所
北 部 A	2月13日(木)	3箇所
北 部 B	1月30日(木)	2箇所
計		12箇所

これからも現場や現場周辺の安全を確保するため、今般のパトロールにおける注意事項や指導事項を改善し、周辺環境に十分配慮した安全管理を行い、工事現場周辺も含めて事故防止に努めていただきたいと思います。

8. 道路環境美化活動(愛ロード事業)

道路は通学・通勤・経済活動等、子供から高齢者までの多くの県民が社会活動を行う上で、最も身近な公共施設ですが、ごみの不法投棄等で道路環境の悪化が目立ち、悩ましい問題となっております。

そこで当協会は、ボランティア団体として、空き缶等のゴミ拾いや雑草の除去等の清掃や、トンネル内のガードパイプや壁面の清掃等を通して、道路利用者の道路を愛する心を育んでいます。具体的には、「道路」を清潔で安全・快適に利用できるようにするため、環境美化ボランティア活動事業として「愛ロードとちぎ」を行うことにより、道路に対する道路利用者のマナーと意識向上を図ることが期待されます。

今年で15年目を迎えたこの事業は、栃木県舗装協会と宇都宮市、道路管理者である県がパートナーとして連携協力し、主要地方道路宇都宮向田線の宇都宮市塙田1丁目(塙田トンネル)から田川東橋の約1.5kmにおいて、安全で快適な道路環境の維持向上を図ると共に、安全で快適な県土づくりと道路利用者の意識向上を図る目的として行われ、1回につき約30名の参加者のご協力のもと、年6回の清掃作業活動を実施しています。



令和6年度第6回愛ロード(塙田トンネル)

令和6年度の実施状況 開催日及び参加人員

- 第1回 令和6年 4月10日 …… 30名
- 第2回 令和6年 6月12日 …… 27名
- 第3回 令和6年 8月 7日 …… 26名
- 第4回 令和6年 10月 9日 …… 30名
- 第5回 令和6年 12月11日 …… 26名
- 第6回 令和7年 2月12日 …… 27名



令和7年度第1回愛ロード(宇都宮向田線)

令和7年度の実施状況及び予定 開催日及び参加人員

- 第1回 令和7年 4月 9日 …… 25名
- 第2回 令和7年 6月11日 …… 25名
- 第3回 令和7年 8月 6日 …… 26名
- 第4回 令和7年 10月 8日 …… 22名
- 第5回 令和7年 12月10日 予定
- 第6回 令和8年 2月 4日 予定

9. 令和6年度・7年度技術研修会

- (1) 令和6年9月26日に第4回技術研修会を「ICTからBIM/CIMの作成と活用方法」と題して、(株)ブコンソキアポジショニングジャパン白河トレーニングセンタにて開催しました。



- (2) 令和6年12月10日に、第5回技術研修会を「i-Construction / DXセミナー ～基礎工事編～」について、西尾レントオール(株)北関東テクノヤードにて開催しました。



- (3) 令和7年7月28日に第1回技術研修会を舗装会館4階大会議室で開催しました。
出席者は会員会社13名、会員外会社3名の参加がありました。講習内容は下記の通りとなっております。

- ・特別講演 「令和6年度の事故発生状況について」
講師 県土整備部技術管理課検査班 検査監 高久 誠氏
「ICT活用工事について」
講師 県土整備部技術管理課検査班 副検査監 築瀬 和裕氏
- ・舗装研修 「舗装分野におけるカーボンニュートラル」
講師 ニチレキ(株)関東支店 技術課係長 後藤 洋平氏



- (4) 令和7年9月25日に第2回技術研修会を、(株)ブコンソキアポジショニングジャパン白河トレーニングセンタにおいて、「ICT建機を使った現場施工体験と計測機器の操作体験について」と題して研修会を行いました。



10. 令和7年度安全衛生講習会

令和7年6月4日に舗装会館4階大会議室において、「令和7年度舗装施工管理技術講習会」を開催しました。受講者は6月22日の試験に備えて、熱心にメモを取りながらの受講となりました。

講義内容

- (1) 土木一般
講師 ニチレキ(株)本社 工事統括部 部長 川添 崇生氏
- (2) 施工計画・管理
講師 ニチレキ(株)本社 工事統括部 部長 川添 崇生氏
- (3) 舗装
講師 ニチレキ(株)関東支店 技術課 課長 神田 伸行氏
- (4) 法規・応用及び傾向と対策
講師 ニチレキ(株)関東支店 技術課 課長 神田 伸行氏



11. 令和6年度舗装三県合同協議会

令和6年10月17日 群馬県の伊香保温泉 ホテル小暮において、令和6年度舗装三県合同協議会を開催しました。

この協議会は群馬県・茨城県・栃木県の3県で構成され、毎年持ち回りで開催し、「アスファルト合材の発注者別総出荷量と県道路関係予算の推移」の報告が行われ、その後、各県からの提案議題として、「夏季における舗装工事について(群馬県)」、「舗装切断の際に発生する汚泥の処理について(茨城県)」、「舗装工事におけるICT活用工事の課題について(栃木県)」等の意見交換が行われました。

また、各県出席者の活発な討議の中で、次回の協議会を茨城県で開催することを決め、会議を閉会しました。



12. 各種委員会

(敬称略)				
委員会名	分掌事務	委員長	副委員長	委員
総務委員会	協会の組織及び運営管理・諸規定・会員の資格審査・会費・分担金・その他、他の委員会に属しない事項について審議する。	竹内 智祐 (栃舗建設工業(株))	増渕 勝明 (株)増渕組 神谷 成美 (神谷建設(株))	12名
技術委員会	舗装工事に関する技術水準の向上を図るための調査・研究と、労務・資材の需給に関する調査、関係法令の研究及び、これらの事項に関する講習会・見学会の開催、諸官庁・諸団体との連絡・調整を行う。	天野 雅彦 (天野建設(株))	佐藤 俊之 (佐藤建設工業(株)) 阿部 勝 (渡辺建設(株))	12名
安全管理委員会	工事の安全衛生対策の推進を図るため、労働安全衛生関係法令の調査・研究を行うと共に、現場ノットロールを実施し、現地に即した対策を指導・検討する。	吉澤 定男 (吉沢建設(株))	岩澤 賢典 (岩澤建設(株)) 荒井 恭一 (株)丸あ組 小野崎弘明 (株)浜屋組	44名
広報委員会	協会の広報・宣伝活動として、機関誌「ペーパメント」の発行・ホームページの管理・運営、その他の調査・研究・紹介を行い、それを通して関係機関との連絡・調整・連携を図ると共に、一般社会へのPRにも努める。	丸山 隆重 (丸山重機(株))	菊池 祥一 (山本建設(株)) 遠藤 充正 (岩澤建設(株))	11名

(令和7年6月1日現在)

1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会

令和7年5月9日 宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和7年度の定時総会を開催いたしました。

磯部 尚士会長の挨拶後議事に入り、令和6年度の事業報告・収支決算及び令和7年度の事業計画・収支予算(案)について原案通り可決承認されました。

さらに、役員の補充選任がされ、右記のとおり就任いたしました。



磯部尚士会長挨拶

令和7年度 栃木県アスファルト合材協会役員 (敬称略)

役職	氏名	会社名
会長	磯部 尚士	磯部建設 株式会社
副会長	川上 清	瑞穂澀青工業 株式会社
副会長	太刀川益弘	東武道路工業 株式会社
理事	小林 徹郎	光洋建設 株式会社
理事	香月 雅治	株式会社 宇都宮アスコン
理事	神山 裕	株式会社 浜屋組
理事	松本 和也	栃木共同アスコン 株式会社
監事	秋山 俊幸	日本道路株式会社 栃木合材センター
監事	谷澤 正宏	世紀東急工業株式会社 佐野混合所

相談役	増渕 秋雄	(元)栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	岩見 高士	(前)栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	阿久津好光	栃木県アスファルト合材協会

(令和7年5月9日現在)

2. 栃木県アスファルト合材協会 功労者表彰

令和7年度栃木県アスファルト合材協会定時総会において、功労者として4名の方々の表彰式が行われました。次いで、令和7年度(一社)日本アスファルト合材協会功労者表彰の工場表彰及び個人表彰の賞状授与式を行いました。

表彰されました皆様方のこれからのご活躍をご祈念申し上げます。



功労者表彰受賞者

令和7年度 功労者表彰名簿 (敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤続期間	勤続年数
磯部建設(株)	アスファルト事業部 工事課課長補佐	渡邊 将人	昭62.4 ~ 令7.3	38年
ナスアスコン(株)	主任	印南 恵	平21.9 ~ 令7.3	15年
日本道路(株)栃木合材センター	事務担当	大久佐 智恵	平16.4 ~ 令7.3	22年
(株)浜屋組	試験係長	田井 敬	平12.4 ~ 令7.3	25年

令和7年度(一社)日本アスファルト合材協会功労者表彰

工場表彰 栃木県北アスコン(株) 個人表彰 川崎亮氏(栃木共同アスコン(株))

3. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 第36回北関東ブロック連絡協議会大会

令和7年7月23日に宇都宮東武ホテルグランデにおいて、第36回北関東ブロック連絡協議会大会が開催されました。本年度は栃木県が当番の開催地として、磯部尚士会長をはじめ15名が参加し、群馬県・茨城県の方々をお迎えしました。

北関東ブロック連絡協議会は、栃木県・茨城県・群馬県の三県で構成されており、持ち回りで大会を開催しております。

「令和7年度の大会スローガン」は、

- ① 熱中症 無理と過信と油断から しっかり取ろう水分・塩分・適度な休憩
- ② 法令遵守と品質管理 高める信頼・企業価値
- ③ STOP温暖化 地球は人間だけのものじゃない となっております。



磯部栃木会長挨拶

4. 県土整備部とのアスファルト合材に関わる意見交換会

令和6年11月20日に栃木県庁本庁舎15階第5会議室において、栃木県県土整備部とアスファルト合材に関わる意見交換会を開催しました。県土整備部から、小野次長、星野次長以下関係課長にご参加いただき、磯部会長から小野次長へアスファルト合材協会からの要望書をお渡しし、その後に、県幹部の皆様と要望内容について意見交換を行いました。



要望書提出



意見交換会の状況

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿

会 社 名	代 表 者		Ｔ Ｅ Ｌ	Ｆ Ａ Ｘ	所 在 地
	役 職	氏 名			
天野建設(株)	代表取締役	天野 雅彦	0287-23-2520	0287-22-3585	〒324-0011 大田原市北金丸1546-7
(株)生駒組	代表取締役	生駒 憲一	0287-36-0648	0287-37-1466	〒329-2735 那須塩原市太夫塚5-221
石川建設(株)	代表取締役	石川 裕之	0287-62-0054	0287-63-8357	〒325-0045 那須塩原市高砂町5-12
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
伊藤技建(株)	代表取締役	伊藤 守行	0289-65-4121	0289-65-4145	〒322-0045 鹿沼市上殿町687-1
(株)猪股建設	代表取締役	猪股 弘樹	0287-59-0114	0287-37-5515	〒324-0206 大田原市中野内2126
(株)入江組	代表取締役	入江 克拓	028-656-1132	028-656-1154	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-250
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 賢典	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保田町564-1
岩原産業(株)	代表取締役	岩原 正樹	028-662-8441	028-663-3091	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地6-12
(株)薄井土木	代表取締役	薄井 幹夫	0287-65-2234	0287-65-2289	〒329-3152 那須塩原市島方379-9
宇都宮土建工業(株)	代表取締役社長	荒井 学	028-656-1222	028-656-7569	〒321-0112 宇都宮市屋板町568-1
(株)大岩建設	代表取締役	岩見 武	0287-23-1610	0287-23-3250	〒324-0042 大田原市末広1-4-40
上岡土建(株)	代表取締役	上岡 利之	0289-76-2788	0289-76-1472	〒322-0026 鹿沼市茂呂252-1
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 雄大	0289-65-2121	0289-65-2124	〒322-0034 鹿沼市府中町383
(株)菊地組	代表取締役	菊池三紀男	028-664-3348	028-664-3250	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地45-2
小平興業(株)	代表取締役	石黒 靖規	028-658-1600	028-659-0284	〒321-0151 宇都宮市西川田町1164
桜岡建設(株)	代表取締役	櫻岡 増実	0287-23-3456	0287-23-7646	〒324-0016 大田原市北大和久24
(株)佐藤組	代表取締役	磯 祐二	0287-98-3782	0287-98-3763	〒324-0403 大田原市湯津上1140
佐藤建設工業(株)	代表取締役社長	佐藤 俊之	028-682-6524	028-682-0128	〒329-1334 さくら市押上1065
(株)シンエヌ	代表取締役	清水 憲	028-634-7280	028-634-7281	〒320-0842 宇都宮市京町9-50
大幹建設(株)	代表取締役社長	入江 誠	028-656-2615	028-656-2427	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-105
(株)高久組	代表取締役	高久 美穂	0287-72-0148	0287-72-5507	〒329-3222 那須町大字寺子丙 1
(株)谷黒組	代表取締役社長	谷黒 公重	0287-32-2220	0287-32-2827	〒329-2921 那須塩原市塩原1100

会 社 名	代 表 者		Ｔ Ｅ Ｌ	Ｆ Ａ Ｘ	所 在 地
	役 職	氏 名			
(株)千葉建設	代表取締役	千葉 恭裕	028-658-8746	028-658-3199	〒321-0155 宇都宮市西川田南1-47-20
(株)津野田土木	代表取締役	津野田 哲	0285-53-6451	0285-53-6246	〒329-0527 上三川町上神主462-1
東武建設(株)	代表取締役社長	飯野 秀夫	0288-21-8321	0288-21-7385	〒321-2411 日光市大桑町138
(株)東部興業	代表取締役	高田 和幸	0285-56-2509	0285-56-2855	〒329-0603 上三川町大字東蓼沼156
東武道路工業(株)	代表取締役	伊藤 章夫	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃舗建設工業(株)	代表取締役	竹内 智祐	028-648-2594	028-648-8670	〒320-0851 宇都宮市鶴田町3620-7
中村土建(株)	代表取締役社長	渡邊 幸雄	028-622-6581	028-622-6292	〒320-0014 宇都宮市大曾4-10-19
那須土木(株)	代表取締役社長	玉木 勇介	0287-23-5678	0287-23-0355	〒324-0056 大田原市中央1-13-10
(株)野澤實業	代表取締役	野澤 充広	028-656-2851	028-656-6422	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-7-9
野中建設(株)	代表取締役	野中伸之助	028-624-9890	028-624-9891	〒320-0004 宇都宮市長岡町384-4
(株)浜屋組	代表取締役社長	岩見 高士	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
(株)増渕組	代表取締役社長	増渕 勝明	028-633-7373	028-637-4401	〒321-0933 宇都宮市築瀬町2500-15
(有)松本工務店	代表取締役	松本 友一	0285-73-1600	0285-74-5454	〒321-4523 真岡市さくら4-1-20
(株)丸あ組	代表取締役	荒井 恭一	028-633-6664	028-635-8664	〒321-0933 宇都宮市築瀬町1947-8
マルホ建設(株)	代表取締役	星 豪紀	0287-57-0008	0287-23-6807	〒324-0215 大田原市南方530
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
吉沢建設(株)	代表取締役	吉澤 定男	0289-62-4916	0289-62-6070	〒322-0006 鹿沼市富岡1342
渡辺建設(株)	代表取締役社長	渡辺 眞幸	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員



天野 雅彦
(株)天野建設



生駒 憲一
(株)生駒組



石川 裕之
(株)石川建設



磯部 尚士
(株)磯部建設



伊藤 守行
(株)伊藤技建



猪股 弘樹
(株)猪股建設



入江 克拓
(株)入江組



岩澤 賢典
(株)岩澤建設



岩原 正樹
(株)岩原産業



薄井 幹夫
(株)薄井土木



荒井 学
(株)宇都宮土工工業



岩見 武
(株)大岩建設



上岡 利之
(株)上岡土建



神谷 雄大
(株)神谷建設



菊池 三紀男
(株)菊池組



石黒 靖規
(株)小平興業



櫻岡 増実
(株)桜岡建設



磯 祐二
(株)佐藤組



佐藤 俊之
(株)佐藤建設工業



清水 憲
(株)シンエヌ



入江 誠
(株)大幹建設



高久 美穂
(株)高久組



谷黒 公重
(株)谷黒組



千葉 恭裕
(株)千葉建設



津野田 哲
(株)津野田土木



飯野 秀夫
(株)東武建設



高田 和幸
(株)東部興業



伊藤 章夫
(株)東武道路工業



竹内 智祐
(株)栃舗建設工業



渡邊 幸雄
(株)中村土建



玉木 勇介
(株)那須土木



野澤 充広
(株)野澤実業



野中 伸之助
(株)野中建設



岩見 高士
(株)浜屋組



増渕 勝明
(株)増渕組



松本 友一
(有)松本工務店



荒井 恭一
(株)丸あ組



星 豪紀
(株)マルホ建設



丸山 隆重
(株)丸山重機



菊池 祥一
(株)山本建設



吉澤 定男
(株)吉沢建設



渡辺 真幸
(株)渡辺建設

栃木県アスファルト合材協会 会員名簿

会 社 名	代 表 者		Ｔ Ｅ Ｌ	Ｆ Ａ Ｘ	所 在 地
	役 職	氏 名			
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 賢典	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保田町564-1
(株)宇都宮アスコン	代表取締役	香月 雅治	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
大林道路(株) 栃木アスファルト混合所	所 長	石村 真二	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
光洋建設(株)	取締役副社長	小林 徹郎	0285-23-1165	0285-23-1441	〒323-0014 小山市喜沢689
世紀東急工業(株) 佐野混合所	所 長	谷澤 正宏	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580
東武道路工業(株)	専務取締役	太刀川益弘	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃木北アスコン(株)	代表取締役	吉田 大輝	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷町玉生1820
栃木共同アスコン(株)	代表取締役	松本 和也	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 壬生町福和田1013-1
栃木県北アスコン(株)	代表取締役	岩見 武	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
日本道路(株) 栃木合材センター	所 長	秋山 俊幸	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
(株)浜屋組	取締役第2土木部長	神山 裕	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
(有)富士川産業	代表取締役	田村 達夫	0285-25-2080	0285-23-0723	〒323-0808 小山市出井1970-2
前田道路(株) 栃木合材工場	工 場 長	若狭雄二郎	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
瑞穂瀝青工業(株)	代表取締役	川上 清	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
渡辺建設(株)	代表取締役社長	渡辺 眞幸	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

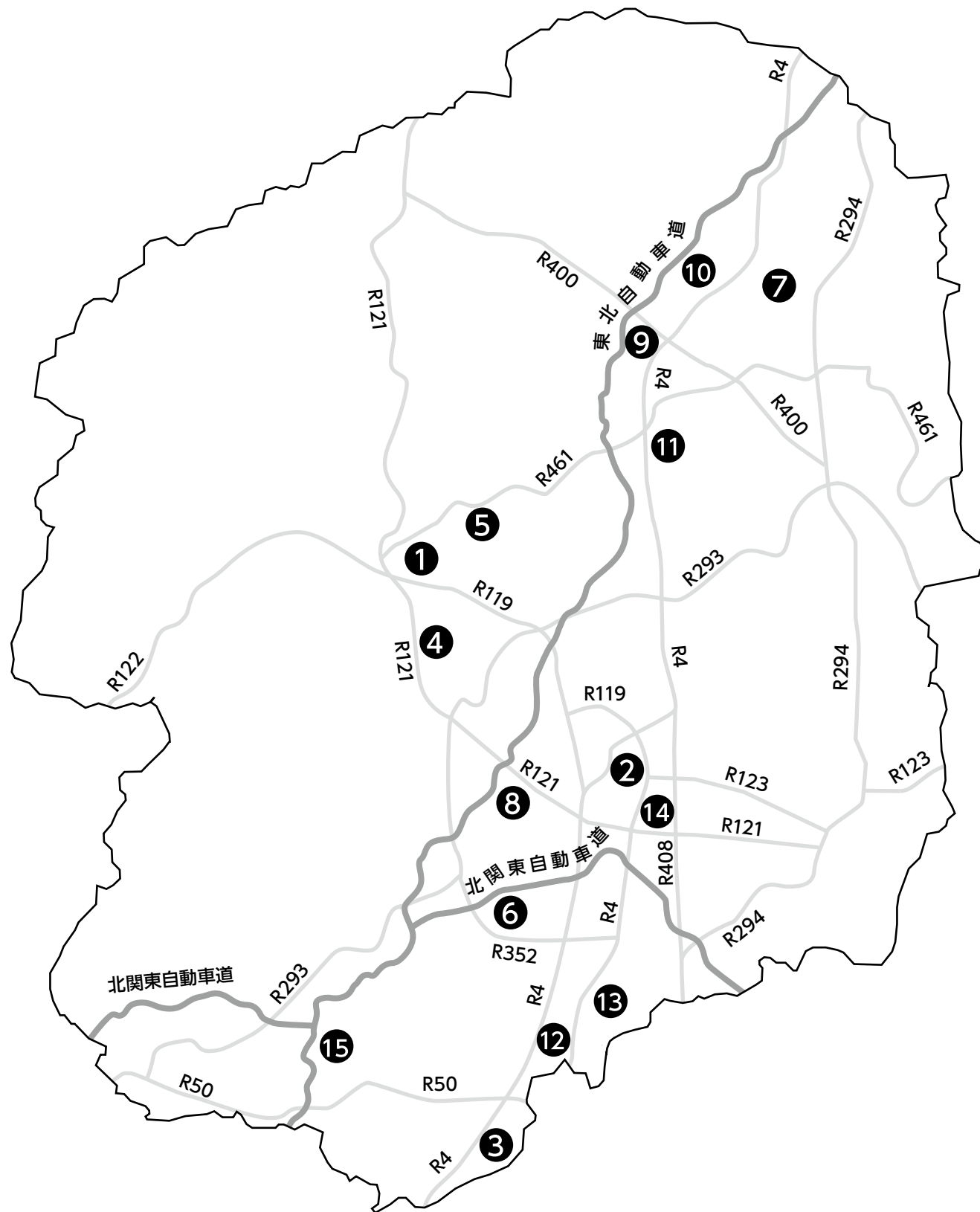
(令和7年10月現在)

栃木県アスファルト合材協会 工場一覧

工 場 名	代 表 者		Ｔ Ｅ Ｌ	Ｆ Ａ Ｘ	所 在 地
	役 職	氏 名			
① 磯部建設(株) アスファルト合材工場	工 場 長	藍原 雅人	0288-26-3273	0288-26-3190	〒321-2331 日光市針貝字茅場1071-10
② 宇都宮アスコン (前田道路株・株宇都宮アスコン)	所 長	若狭雄二郎	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
③ 光洋建設(株) 小山合材工場	取締役副社長	小林 徹郎	0285-27-5411	0285-27-6657	〒323-0817 小山市東野田2280-4
④ 東武道路工業(株)	工 場 長	西村 光幸	0288-27-1217	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
⑤ 栃木北アスコン(株)	代表取締役	吉田 大輝	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷町玉生1820
⑥ 栃木共同アスコン(株)・渡辺建設(株) 栃木工場	代表取締役	松本 和也	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 壬生町福和田1013-1
⑦ 栃木県北アスコン(株)	取締役工場長	中村 信明	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
⑧ 栃木合材センター (日本道路株・大林道路株・山本建設株)	所 長	秋山 俊幸	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
⑨ ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
⑩ 那須合材センター (日本道路株・丸山重機株)	所 長	峯村 新也	0287-65-3452	0287-65-3477	〒329-3155 那須塩原市笹沼字中島原453-10
⑪ (株)浜屋組 アスファルト合材工場	取締役第2土木部長 兼合材部部长	神山 裕	0287-43-1818	0287-43-1818	〒329-2122 矢板市針生365
⑫ (有)富士川産業	工 場 長	野澤 正行	0285-25-2080	0285-20-6021	〒323-0808 小山市出井1970-2
⑬ 前田道路(株) 栃木合材工場	工 場 長	若狭雄二郎	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
⑭ 瑞穂瀝青工業(株)	工 場 長	青木 崇	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
⑮ 両毛アスコン (世紀東急工業株・岩澤建設株)	所 長	谷澤 正宏	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580

(令和7年10月現在)

栃木県アスファルト合材工場所在図



創刊50号を迎えて(広報委員長メッセージ)

このたび、舗装協会誌『ペーブメント』が創刊 50 号を迎えることとなりました。まずは、長年にわたり本誌の発行にご協力・ご支援いただいた会員の皆様、広報委員の皆様、ご尽力いただいた諸先輩、関係各位に心より感謝申し上げます。

本誌は、1990年(平成2年)に第1号を発刊し、舗装業界に関わる最新の技術動向や行政施策、各地域の活動報告、さらには会員相互の交流を目的として、発刊以来、業界の「情報共有と発信の場」として歩んでまいりました。特に近年は、資材価格の高騰、人口減少による担い手不足、猛暑下での施工環境の改善、さらには二酸化炭素排出削減といった環境対策など、業界を取り巻く課題が一層複雑化する中で、本誌が情報を共有し、知恵を結集する役割の一端を担ってきたものと考えております。

50号という節目は、これまでの歴史を振り返るとともに、次の世代へと業界の未来をつなぐ大切な通過点でもあります。今後も本誌が、会員の皆様にとって身近で有益な情報源となり、舗装業界の発展に寄与できるよう、広報委員会一同、さらなる充実を目指してまいります。

結びに、本誌の発展に携わっていただいたすべての方々に重ねて感謝申し上げるとともに、『ペーブメント』が今後も皆様とともに歩み続け、100号、さらにはその先へと発展していくことを心より祈念いたします。

(一社)栃木県舗装協会 広報委員長 丸山 隆重



丸山 隆重
広報委員長
丸山重機㈱



菊池 祥一
広報副委員長
山本建設㈱



遠藤 充正
広報副委員長
岩澤建設㈱



高橋 福雄
広報委員
渡辺建設㈱



杉田 浩幸
広報委員
磯部建設㈱



橋本 正人
広報委員
神谷建設㈱



田中 昌浩
広報委員
佐藤建設工業㈱



江部 毅
広報委員
野中建設㈱



藤島 崇
広報委員
㈱浜屋組



平塚 学
広報委員
㈱増潤組



伊東 啓太
広報委員
山本建設㈱

来年2026(令和8年)で
当協会は創立60周年を迎えます。

HISTORY

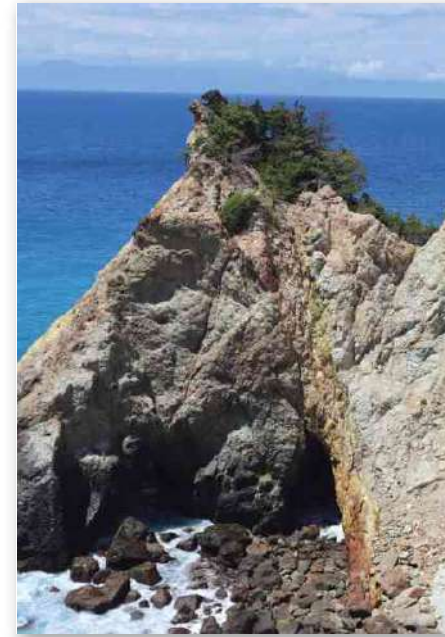
沿革

昭和 41年	設立(会員15社)
昭和 42年	舗装会館(旧館)落成
昭和 48年	舗装三県合同協議会発足(栃木・茨城・群馬三県持ち回りで毎年実施)
昭和 61年	法人化20周年記念式典 新舗装会館落成
平成 2年	広報誌「ペーブメント」創刊
平成 7年	法人化30周年記念式典
平成 18年	法人化40周年
平成 24年	一般社団法人へ移行
平成 28年	法人化50周年記念式典



舗装会館

表紙写真『海と岩』撮影日(令和7年8月3日)



この写真の撮影した場所は静岡県西伊豆町の黄金崎公園で、この写真の岩は「馬ロック」という愛称で呼ばれています。この場所に訪れたのは8月上旬で、日差しが強く、青々とした穏やかな海がとても印象的な日でした。夕日が美しいと評判の黄金崎ですが、私が訪れたのは午後2時頃でしたので、見ることはできませんでした。しかし、澄み渡る青色の空と雄大な海と馬ロックの組み合わせは、夕日とはまた違った美しい眺めでした。伊豆半島に家族で旅行に行く際には、必ずこの黄金崎公園を訪れます。理由は、この公園にある「こがねすと」という無料休憩所のソフトクリームを食べることが、私の家族の伊豆に訪れた際のルーティンだからです。私にとって黄金崎は、家族との大切な思い出の地で、ぜひほかの人にも知ってほしいと思い、この写真を選びました。ぜひ写真越しに眺めるだけでなく、実際に訪れてみてください。

撮影者／片山 瑠璃(栃木県立足利清風高等学校 写真部)

編集後記

舗装協会創刊50号記念Pavement50号が無事発刊いたしました。取材協力頂いた皆様、編集業務に携わった皆様、多くの方のご尽力に感謝申し上げます。

平成2年に創刊して35年目で50号の節目となりました。平成2年はバブルが崩壊した年であり、経済不況の「失われた30年」の始まりでした。

この長期景気悪化は世帯所得低迷を招き、現在の人手不足・少子化に繋がります。1970年代頃の年間出生数200万人が、2024年は68万人です。ちなみに江戸時代の出生数はある調査で80万人前後。なんと江戸時代より少ないのでえらい事です。これでは人口は減り続け、GDPも税収も減り不景気なのは当たり前なのでしょう。

公共サービスは悪化し年金制度も崩壊するでしょう。世界の有識者の多くは「日本の少子化・人口減少はもう止められない、今からでは無理。」との考えのようです。結婚や子供にかかる費用や時間を自分の負担・犠牲と捉えていては増えるはずありません。少子化は日本をどのようにするのか? 移民支援「アフリカホームタウン」は序章なのか? 日本はちゃんと主権国家でいられるのか? 心配で昼寝が出来ません。

丸山 隆重

お願い・お知らせ

会員の皆様や、本誌をご覧の方々からの、ご意見・エッセイ・表紙用写真などの、ご投稿をお待ちしております。

いつでも何でも結構です。

機会をみて順次掲載させていただきますので、
よろしくお願い致します。



栃木県舗装協会

検索

